

広島市立安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	本邦における婦人科悪性腫瘍合併妊娠の調査
研究責任者 (所属科名)	研究代表者：産婦人科 熊谷正俊 当院研究者：産婦人科 熊谷正俊
本研究の目的・意義	本邦における子宮頸癌および卵巣癌合併妊娠の発生頻度・治療方法・その予後を調査し、悪性腫瘍とその治療が妊娠・分娩・産褥にどのように影響したかを検討します。さらに、新生児の予後についても検討します。本研究結果は悪性腫瘍合併妊娠の治療指針作成の基となる可能性があり、悪性腫瘍合併妊娠患者の治療成績向上につながる可能性があります。
調査方法・調査期間	調査方法：本研究は、本邦の周産期母子医療センターならびにがん診療連携拠点病院にて診断または治療された患者の情報を日本産科婦人科学会婦人科腫瘍委員会が中心となって集め、解析します。カルテから、以下に関するデータを収集させていただきます。子宮頸癌または卵巣癌合併妊娠の診療に関する診療記録、臨床検査データ（病理診断、分娩週数、手術方法、治療方法、最終生存日など）ならびに出生時に関する診療記録（出生週数、出生時体重、性別、新生児合併症など）であり、新生児も対象となっています。 症例集積期間：研究実施許可日～2019年3月31日 研究実施期間：研究実施許可日～2024年3月31日
該当資料・データ	対象となる方：西暦2012年1月1日より2017年12月31日までの間に、妊娠中に子宮頸癌または卵巣癌と診断され、入院または通院し、診療を受けた方。 子宮頸癌または卵巣癌合併妊娠の診療に関する診療記録、臨床検査データ（病理診断、分娩週数、手術方法、治療方法、最終生存日など）ならびに出生時に関する診療記録（出生週数、出生時体重、性別、新生児合併症など）
個人情報の取り扱い	本研究で取り扱う患者さんの情報は個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものか一切わからない形として、治療を行った施設から日本産科婦人科学会ホームページ上で情報登録を行います。データの通信は

	SSL 暗号化通信で行われ、患者さんの情報は匿名化されています。また、患者さんの情報と個人情報とを連結させることはなく、事務局による患者個人の特定ができませんようになっています。
共同研究機関	全国の周産期母子医療センターならびにがん診療連携拠点病院（約500施設）
本研究の資金源 （利益相反）	利益相反（COI）：本研究の研究代表者／研究事務局、各施設の研究責任医師および研究担当医師の「本研究に係る利益相反」は、原則として研究者の自己申告書に基づき、所属施設が規定する利益相反審査委員会または倫理審査委員会等で審査・承認を受ける。 研究資金源：本研究に関わる資金は、日本産科婦人科学会の資金を用いて実施する。
お問い合わせ先	電話：082-815-5211 担当者：熊谷 正俊（産婦人科主任部長）
備考	